

# 学 会 報 告

2023年11月18日に 神戸大学医学部神緑会館で行われた  
第34回 日本老年医学会 近畿地方会 シンポジウムで、  
当院の慢性心不全に対する多職種連携の取り組みに関するの  
教育講演を行いました。



【教育企画・シンポジウム】「予防と共生を目指した地域連携と多職種協働～現状と課題～」

座長：永田 正男（ふくやま・すこやかクリニック）

竹中かおり（神戸大学医学部附属病院）

「相互理解から始まる有効な多職種協働へ」

演者：高橋 敬子（兵庫医科大学 医療クオリティマネジメント学講座／循環器・腎透析内科学講座）

「在宅医の視点からの地域連携について」

演者：豊國 剛大（三和クリニック）

「社会的ストレスを有する慢性心不全症例に対する多職種連携の取り組み」

演者：井上 信孝（神戸海星病院）

高齢化に伴い心不全患者数は急激な増加が予想されています。この心不全パンデミックは喫緊の重要な医療課題です。日本の人口は減少のフェーズにありますが、一方で独居世帯は急速に増加しています。独居や社会的孤立等の社会的ストレスは、心臓病のリスクであることがわかってきました。

今回のシンポジウムでは、当院で慢性心不全の患者さんに対する取り組むを紹介し、今後の展望についてお話し致しました。多くの方々から、さまざまな意見を拝聴することができ、とても有意義な会でありました。



シンポジウム座長

永田正男先生（後列 右）

竹中かおり先生（前列 右）

演者

兵庫医科大学 高橋敬子先生（前列 左）

三和クリニック 豊國剛大先生（後列 左）

井上（後列 中央）

神戸海星病院 理事長 井上信孝